

2017年7月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社) 神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

7 2017
July
No.272

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

発行 | 神奈川県理学療法士会 代表 | 林 克郎 編集 | 今井 祐子

発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

会員数

[29.6.1現在]

4,953名

Contents

P1 巻頭言 P2 新人教育プログラム P4 会長行動報告 P5 活動報告 / 会員ライフサポート部活動報告60報
P7 学会情報 P8 研修会・講習会 P11 information P12 編集後記 / 原稿送付先

巻頭言



目の前の仕事や組織にのめり込む

IMSグループ 医療法人社団明芳会
北小田原病院 藤永 祐人

タイトルは、私が好きな本に書かれていた一節を引用しました。「仕事なんて辛くてのめり込めない」、「今の職場が好きではないからのめり込みたくない」という方もいらっしゃると思いますが、一定期間はのめり込んでみるべき、というのが私の意見です。理由は後で述べます。

北小田原病院は、神奈川県南足柄市に位置する精神科・認知症・内科病棟を有する維持期の病院です。当院のリハビリテーション科身障部門は、平成27年4月に開設しました。それまでは精神科・認知症病棟のOTは在籍していましたが、身体障害に対するリハビリを行うPT、OT、STは在籍していませんでした。同じグループの病院に勤務していた私は、開設に合わせて転勤し、リハビリテーション科に身障部門を立ち上げ、入院患者並びに地域住民に対し貢献をしていく、という役割を与えられました。元々在籍していた病院で私は回復期病棟に所属しており、仕事にやりがいを感じていましたので、残りたい気持ちはありましたが、大きな仕事を任せられた期待に応えたいという気持ちで転勤を決意しました。

しかし、転勤してからの仕事は簡単なものではありませんでした。以前の職場の維持期の病棟に所属する同僚から「維持期でも退院を促したり、重症の方にも丁寧に関わったりしている」という話を聞いていたので、そのようなイメージを持って転勤しました。しかし当時の当院の状況は全く異なり、寝たきりで静かに1日が過ぎる事が良い事、患者には目標や生き甲斐は無く、時には患者が物として扱われているとさえ感じました。また、身障部門を開設するという事は、新たに書類やカンファレンスが増える事になります。その為、時には心無い言葉を言われる事もあり、開設は他部署のスタッフにとっては単なる仕事の増加に過ぎないのだと感じ、無気力になっていた時期もありました。

それでもとにかく自分にやれる事、思いつく事に日々取り組んできました。PTとして運動療法は提供しますが、

それ以外にも趣味が家庭菜園だった患者と畑を耕したり、美術部出身の患者と水彩画を描いたり、回復期時代にはやった事のない関わりを色々と試しました。

一生懸命やっているとか何かしらの成果は得られるものでした。いくつかの病院を転々としてきた患者と家族には「先生の元に辿り着けて良かった」という言葉を頂きました。一年以上リハビリを継続した患者が、初めて家族の介助だけで自宅へ外出できた時の笑顔は忘れられません。また、他部署のスタッフが「カンファレンスを有効に感じています」と声をかけてくれたり、私が担当した院内講習会を病棟で伝達してくれたり、地域での公開講座を企画してくれたり、協力や支援をしてくれる事が増えたように感じます。

状況や立場は違えど、皆さんも何かに悩みながら仕事をした経験があるのではないのでしょうか。もしくは今まさに悩みに直面している方もいらっしゃるかもしれません。私は転勤した経験から、日々の仕事にのめり込んでみると、何かしらチャンスは巡ってくると感じました。これが冒頭の意見の理由です。巻頭言を書いている時期にもある看護師から「忙しさに押し潰されそうですが、なんとかやり甲斐のある職場に変えたいと思っています。是非連携していきたいです。」という話を聞いて、翌日以降のやる気に繋がりました。

どうしても目の前の仕事や組織にのめり込めないという方もいらっしゃると思います。それは仕方のない事です。仕事や組織から離れる(転職する)事が有効な場合も少なくないと思います。ただ、これも冒頭にお話した本の一節ですが「会社は『退学』せずに『卒業』する」事が重要だと考えています。

新年度を迎えて3か月が経ちました。新体制での仕事に慣れてきた方もいれば不満が出てきた方もいらっしゃると思いますが、まずは目の前の仕事や組織、そして何より目の前の患者や利用者へのめり込んでみてはいかがでしょうか。

新人教育プログラム

平成29年度新人オリエンテーションを終えて

総務部 佐藤 壘（新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里）

去る4月16日（日）13時から16時30分まで、横浜市教育会館にて平成29年度新人オリエンテーションが開催されました。

当日は4月にも関わらず気温が26度にも達し、一足早い夏日となりました。本年度はそんな暑さにも負けず、480名もの新人理学療法士のご参加をいただきました。例年よりも遥かに多い参加者数からも、新人の皆さんの前向きな姿勢を感じることができました。



オリエンテーションでは、林 克郎会長の挨拶と本会役員からの紹介から始まり、各役員講師によるテーマ講演が行われました。各テーマ講演を通して、新人の皆様もこれから歩む理学療法士としての道へ、より一層想いを強められたのではと感じます。その想いを大切にしながら日々の臨床へ、そして研究活動や士会活動へと積極的に臨んでいただければと思います。

末筆では御座いますが、ご多忙の中、貴重な週末にも関わらず新人オリエンテーションの運営に多大なご協力をいただいた県士会事務所の皆様、役員の皆様に、深く感謝を申し上げます。



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>



平成29年度 第2回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 事務局 新人教育部

この度は、平成29年度 第2回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

- 開催日：平成29年10月1日（日）
受付開始時間 9：30～（予定）
- 開催地：麻布大学 8号館7階百年記念ホール
〒252-5201
神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
- 交通：横浜線矢部駅北口徒歩4分（案内図参照）
- 受講費：本会会員 1,000円
（受講単位数に関わらず一律1,000円）
他士会会員 4,000円
（受講単位数に関わらず一律4,000円）

5. 内容：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	取得単位数
10：00-11：00	C-2 運動器疾患の理学療法	1
11：05-12：05	B-1 一次救命処置と基本処置 昼食	1
12：55-13：55	B-2 クリニカルリーズニング	1
14：00-15：00	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域	1
15：05-16：05	E-2 コーチングとティーチング （コミュニケーションスキル含む）	1

- 申込方法：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。
登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。個々のテーマは独立した研修会です。各々の登録が必要になります。
受講登録後の自動返信メールをお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。（媒体は問いません）
自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報くださいますようお願いいたします。
新人教育プログラム研修会では、受付の際に登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

- 申請テーマのキャンセル：
事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知お

きください。
やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、研修日以前は本会事務局（office@pt-kanagawa.or.jp）へ、研修会当日は専用PHS：#070-5020-9036まで必ずご連絡ください。

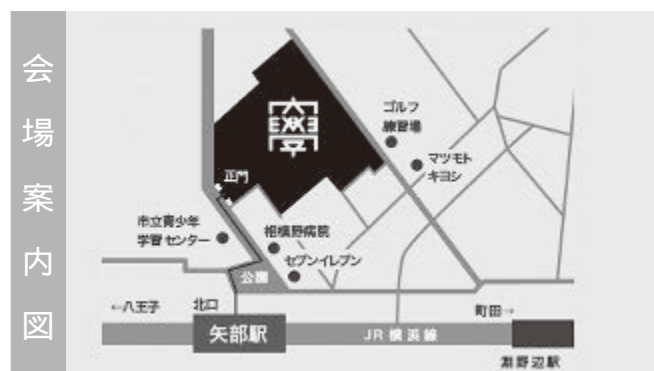
- 講義資料：日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマをダウンロードしご持参下さい。会場での用意はございません。
- 定員：400名（先着順）
- 申し込み期間：
申込開始日：平成29年8月28日（月）正午～
申込終了日：平成29年9月25日（月）

事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

- 注）会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。
- 注）カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。
- 注）研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、単位認定できない場合がありますので注意してください。
- 注）昼食は各自でご用意ください。

問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科
E-mail：reha-ykh@ykh.gr.jp
新人教育部 部長：木村 充広

公益社団法人神奈川県理学療法士会 事務局
E-Mail：office@pt-kanagawa.or.jp



会場案内図

新人教育プログラム



会員各位

平成29年度新人教育プログラム 研修会に関する広報内容の訂正とお詫び

本会ニュース4月号ならびに新人オリエンテーションの資料において、「新人教育プログラム学術講習会・研修会予定」の内容の一部（表中下線部）に誤りがありました。訂正し、深くお詫び申し上げます。

今年度、下記のテーマの受講を予定されている方は、事前登録の際に十分ご注意くださいようお願いいたします。

	誤	正
ニュース4項 新オリ資料61項	上段表中 「C-1 神経疾患の理学療法」・・・ <u> </u>	「C-1 神経疾患の理学療法」・・・ <u> </u>
	上段表中 「C-2 運動器疾患の理学療法」・・・ <u> </u>	「C-2 運動器疾患の理学療法」・・・ <u> </u>

	誤	正
ニュース5項 新オリ資料61項	上段表中 第1回新人教育プログラム研修会 (A-1 ~ 5,C-2)	第1回新人教育プログラム研修会 (A-1 ~ 5,C-1)
	上段表中 第2回新人教育プログラム研修会 (B-1 ~ 2,C-1,D-2,E-2)	第2回新人教育プログラム研修会 (B-1 ~ 2,C-2,D-2,E-2)

平成29年5月

学術局 新人教育部 部長 木村 充広



月	日	内容	場所
3月	1日(水)	第12回常任理事会	事務所
	2日(木)	湘南東部ブロックヒヤリング	湘南藤沢徳洲会病院
	8日(水)	地域組織対策本部会議	事務所
	12日(日)	第34回神奈川県理学療法士学会	パシフィコ横浜
	15日(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	臨床工学技士会事務所
	21日(火)	第8回事業運営会議	事務所
	24日(金)	県西ブロックヒヤリング	おだわら市民交流センター
	25日(土)	ブロック情報交換会	横浜リハビリテーション専門学校
	25日(土)	神奈川県立保健福祉大学長澤教授退官記念パーティー	新横浜プリンスホテル
	28日(火)	神奈川県理学療法士連盟総会	労働プラザ
30日(木)	神奈川県リハビリテーション協議会	横浜情報文化センター	
4月	5日(水)	第1回常任理事会	事務所
	16日(日)	新人オリエンテーション	横浜市教育会館
	18日(火)	第1回事業運営会議	事務所
	23日(日)	田村ゆうすけ県議会議員活動報告会	JA横浜
	24日(月)	東京オリパラ準備委員会パラ部会	事務所
	27日(木)	小川かつみ後援会打合せ	湘南台
5月	2日(火)	第2回常任理事会	事務所
	7日(日)	監査会	事務所
	7日(日)	地域組織対策本部会議	事務所
	16日(火)	第1回理事会	事務所
	17日(水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	臨床工学技士会事務所
	19日(金)	戸塚区PT連絡協議会(仮称)	西横浜国際総合病院
	23日(火)	神奈川県医療課地域包括ケアグループ打合せ	事務所
25日(木)	神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会、三士会長会議	事務所	
6月	3-4日(土日)	(公社)日本理学療法士協会、定時総会	新橋

活動報告



産前・産後ケアセミナー (鎌倉ブロック研修会)レポート

ライフサポート部 杉山さおり 寺尾 詩子

会員ライフサポート部
活動報告 第60報
職場環境を考える

ライフサポート部では、誰もが働きやすい環境作りをテーマに活動を続けています。そんな中、目に留まった活動がありました。育休中の女性理学療法士が地域でウィメンズヘルスを広めていくために立ち上げたグループ「mama care 湘南」と、活動拠点となるブロック内での研修活動を検討している理学療法士がうまく繋がって開催できた研修会です。今回はこの様子を報告します。

この取り組みは、育休中で孤立、不安な生活を送りがちな理学療法士にとっては、興味をもって参加することができ、周囲のスタッフとつながりを持つ機会となりました。ブロック化を推進する立場としても研修が充実する、経験がありながら離職していくのを防ぐことができる、地域での継続的なネットワークが構築できるといった可能性を感じさせるものとなりました。ブロックの活動の活性化と子育て中の女性理学療法士の活動の支援が実現したこの研修をきっかけに、ライフサポート部でも、ブロック単位でのつながりに注目し支援の在り方を検討して行きたいと思えます。

開催日：平成29年3月26日（日）

テーマ：「医療職だからこそ知っておきたい！女性を救う！職場を救う！！産前産後ケアセミナー」

目的と参加者：まだ日本では制度として確立されていない「産前・産後のからだのケア」を広めるためには、まず理学療法士自身がからだのケアが出来るようになることも大切なことであり、さらに産前・産後のからだの変化についての知識は、職場でも妊産婦さんのことを理解するために役立つ情報です。そこで妊娠・出産を経験する女性だけでなく、管理する立場の人や職場の人にも広く知ってもらうために、男女を問わず、またOT・STも含めたり八職を対象にした研修会として開催されました。参加者は子育て中の女性や妊娠中の女性、パパであり管理職である男性、そして何とか妊娠・出産を経験する女性をサポートしたいという未婚の女性など、19名が参加されていました（当日キャンセルあり）。

セミナーの内容

第1部では、「産前・産後のからだケアは、なぜ必要！？」というテーマで、私が担当させていただきました。管理職や周囲のスタッフが妊娠・出産にまつわる女性のカラダの変化について理解が出来ていない、妊娠したことによりハラスメントを受けた、体の不調を理解してもらえなかったという声がありました。このような問題は、当事者も周囲のスタッフも女性のからだの変化を知ること、出産・育児をとりまく制度を知ること、妊娠・出産を経験する女性も働き続けられる環境に近づくのではないかと、思いから、県士会での調査報告や制度紹介も含めて話しました。

第2部では、mama care 湘南のメンバーから、具体的な妊娠・出産による女性のからだの変化についてのレクチャーと、簡単な実技まで、お子さんと同室の中、皆さ

ん熱心に学ばれる姿が印象的でした。

第3部のグループディスカッションでは、「職場環境を考える」「働き方を考える」「産後のケアを考える」という3つのテーマを提示し、どの内容を話し合いたいかに事前に聴きとってグループ分けを試みまし

た。「働き方を考える」というテーマを選んだ参加者が多く、ディスカッションにも熱が入り、それぞれのグループで女性が働き続けるためにはどうしたらいいか？周囲はどうサポートすればいいか？真剣に話し合う様子が印象的でした。

参加者からの声（セミナー後のアンケートより）

「産後の女性PTの働き方を考える良い機会になった」「職場全体に産前産後リハを周知してもらおう」「妊婦やママに共感して話を聞いていきたい」など、意欲的な感想が多く、また「同じような経験をした人と話せて良かった」「不安・心配事が和らいだ」というピアカウンセリングの効果を示す内容も見受けられました。

mama care 湘南代表 安藤瑞季氏より

この度は、鎌倉ブロックの研修会として、リハ職に向けて産前・産後の女性のからだの変化についてセミナーを開催させていただいたことを、大変有難く、光栄に思

（公益）神奈川県理学療法士会鎌倉ブロック研修会
医療職だからこそ知っておきたい！
女性を救う！職場を救う！！
産前・産後ケアセミナー

妊娠中や出産後のからだは？産後のママは、なぜケアが必要なの？産後と聞かれてはわからないママも、これから妊娠・出産する人も、職場に妊娠中や産後のママがいる人も、そして出産を経験したママも楽しい知識を身につけて、みんなが働きやすい環境を作りましょう！！

日時 3月26日(日)13:30～16:30
場所 鎌倉健康学習センター 3階40室
定員 先着30名
参加費 県士会員：無料／県士会員以外(OT・ST含む)：300円

お申し込みは、QRコードまたは下記メールアドレスまで。
お申し込み M/E: mama.care@kanagawa-nishi.ac.jp
TEL: 090-8141-3879(代表・安藤)

主催：（公益）神奈川県理学療法士会鎌倉ブロック 運営：mama care 湘南

活動報告



います。今回、参加者の約半数の方がお子様連れという、非常に賑やかな講座となりました。地域の産前・産後女性に寄り添い、さらには“子供を連れて学べる場”“自分自身の経験を活かせる場”として、子育て中の理学療法士が輝けるフィールドにもなれるような活動を展開して参ります。



ブロック長 黒水氏より

職場の管理者・理学療法士として感じたことは、妊娠中、子育て中の女性の就業については、社会的な問題でもあり、当院リハ科でも3 / 4が女性、PTも2 / 3が女性です。特に、法的なことも含め、職場管理者として把握すべきこと、理学療法士としての知識をひろめつつ、どのように働いてもらうのか、考えるべき事の多いテーマだと感じています。ぜひ、多くの方、特に男性理学療法士にも

聞いていただきたい内容です。また、ブロック長の立場としては、研修会の企画が課題だったところ、mama care 湘南の先生方が主体となって企画・開催・運営していただきましたことに、大変感謝しております。mama care 湘南の先生方が、ブロックの会員でもありますし、mama care 湘南の活動への参加者が増え、地域のネットワーク強化、職場を超えた社会的活動がより進むと大変ありがたいと思います。

さいごに

普通なら無理だと考えがちな、育休中、仕事と両立中のメンバーが、生き生きと企画・運営していく姿を目の当たりにしました。そのような状況でも、仲間が集い、職場への産前・産後の理学療法について発信する機会をつくり、今後女性の学びの場、そして一般の女性への啓発活動などの公益的な活動も担おうとしている姿は、出産・育児で一度は仕事から離れざるを得ないママPTの復帰までのサポートにもなるのではないかと感じました。ブロック内で活動することで、地域の理学療法士の顔の見えるつながりとなり、活動の継続で、地域ぐるみの実態のある活動として「働き続ける、働きやすい環境」が実現できるでは！？と期待しています。ライフサポート部としては、他の地域にもこのような活動が広がり、継続していくための支援が出来ないか？検討していきたいと考えています。

●平成29年度復職支援実務研修のお知らせ●

- 【目的】もう一度働きたいけど臨床から離れた不安から躊躇されている方に、現場での見学や研修を通して自信をつけてもらうことを目的とした研修です。
- 【対象者】離職中の神奈川県理学療法士会会員（離職の理由は不問、復職先が決まっている方は対象外）
- 【研修先】希望の地域、職種（回復期、訪問リハなど）を元に相談させていただきます
研修先として確約いただいている施設はホームページに掲載しています
掲載されている施設以外も交渉していく予定ですので、お気軽にご相談ください
- 【期 日】5時間×1～5日間分（連続5日間でもOK。期日や研修の方法は相談して決めます）
- 【参加費】1日につき1000円 【申込締め切り】平成30年2月28日

●平成29年度託児室付講習会のお知らせ●

今年度も生涯学習部とライフサポート部で企画した下記の講習会に託児室を設置します。研修会の詳しい内容・申込み方法は、ホームページでご確認下さい。

- 9月 2日（土） 神経理学療法領域講習会（県立保健福祉大学）
- 9月10日（日） 働き続けるためにコミュニケーションを見直そう（ウィリング横浜）
- 10月 1日（日） 股関節の理学療法（横浜リハビリテーション専門学校）
- 10月 7日（土） 心血管疾患のリハビリテーション（県立保健福祉大学）
- 12月10日（日） 小児領域講習会（国際医療福祉大学；サテライト会場の設置）

【問い合わせ先】下記までメールでお願いします。詳しくは県士会ホームページをご覧ください
lifesupport@pt-kanagawa.or.jp（ライフサポート部 寺尾）

学会情報



第35回 神奈川県理学療法士学会のプログラムと準備の進捗状況 今年度は川崎北部ブロックの担当です

学会テーマ「神奈川で育む理学療法士モデル」

地域包括ケアシステム構築の推進、平成30年度の医療報酬・介護報酬同時改定など、社会福祉を取り巻く環境は大きく変化しています。

今回の学会テーマは「神奈川で育む理学療法士モデル」です。理学療法士に求められる役割が広がる中、公益社団法人神奈川県理学療法士会員数は5000人を超えようとしています。しかし、その実は、若い理学療法士が多数を占める大きな組織となっています。

今回の学会では、理学療法士が今後も社会に必要とされる職種であり続けるため、若い理学療法士のモデルとなる先輩理学療法士の活動報告を中心として、改めて人材育成のあり方や理学療法士の専門性について、皆で考え直してみたいと思います。

【開催日時】

平成30年3月25日（日）

【開催場所】

パシフィコ横浜 3階

【プログラム】

テーマに合わせて以下の企画を予定しています。

口述発表・ポスター発表・教育講演・シンポジウム・県民公開講座・県士会活動報告

詳細は現在調整中です。

口述発表、ポスター発表はどんな分野の演題でも受け付けます。

日々の業務の中で課題に感じていることを整理し解決していく場として、また知識の共有の場としてご活用ください。

【演題募集期間】

平成29年8月1日～平成29年9月30日まで

【学会ホームページ】

随時情報を更新中です。県士会ホームページからご覧ください。

託児所は今年度も設置される予定です

学会会場の近隣でアクセスしやすく、専門のスタッフが対応してくれます。小さいお子様のいらっしゃる皆様、ぜひご活用下さい。

平成29年度準備委員会メンバー

[学会長]

大森 豊（訪問看護リハビリテーションネットワーク）

[副学会長・準備委員長]

新井 健司（訪問看護リハビリテーションネットワーク）

[財務係]

池田 雅名（訪問看護リハビリテーションネットワーク）

[運営係]

木下 尚久（新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里）

藤田 博史（訪問看護ステーションタウンナース）

古川 広明（新百合ヶ丘総合病院）

松本 拓（新百合ヶ丘総合病院）

岩川めぐみ（新百合ヶ丘総合病院）

[学術係]

森川 紀宏（麻生リハビリテーション病院）

小泉 周也（横浜総合病院）

[IT係]

佐藤 壘（新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里）

[総務係]

小磯さおり（川崎市北部リハビリテーションセンター）

池谷 充弘（れいんぼう川崎）

山岸 保則（川崎市中部リハビリテーションセンター）



